

各 位

静岡大学大学院人文社会科学研究科

本研究科の学生募集要項については、次頁以降に掲載しておりますが、実際の出願にあたっては下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いします。

記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は人文学部学務係で配付しています。

(2) 郵送にて請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「**大学院人文社会科学研究科募集要項請求**」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して人文学部学務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項送付用封筒）

- ・規格 角形2号封筒（240mm×332mm）
- ・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ・390円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

(3) 担当窓口及び請求先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学人文学部学務係（大学院担当）

電話（054）238-4267

平成24年度

静岡大学大学院

人文社会科学研究所修士課程

学生募集要項

本研究科は、臨床人間科学専攻、比較地域文化専攻及び経済専攻からなり、静岡県で唯一の人文社会科学分野の総合的な大学院です。国際的かつ地域的期待に応えた先端的教育研究を展開している特色を活かし、入学後は、きわめて豊富な開講科目のなかから、必要な授業科目を体系的に選択することができるとともに、充実した教授陣から個別の研究指導を受けることができます。また、夜間・土曜開講を行うなど、社会人の就学サポート体制を整えています。

本研究科では、充実したカリキュラムにより、専門性と学際性、国際性と地域性を兼ね備えた高度職業人の育成を目指していますので、意欲ある皆さんが入学されることを期待します。

なお、教育研究内容及びスタッフについては、別冊の研究科案内をご参照ください。

静岡大学大学院

人文社会科学研究所

【目 次】

I	静岡大学のビジョン・静岡大学の使命・ 静岡大学大学院人文社会科学研究所 アドミッション・ポリシー ……………	1
II	静岡大学大学院人文社会科学研究所及び各専攻の理念 ……………	2
III	一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 学生募集要項 ……………	3
IV	試験科目について〔別表 I～III〕 ……………	22
V	指定出願書類一式 ……………	とじこみ

「受験票等送付用封筒」及び「払込取扱票」は挟み込み

【出願期間、学力検査及び面接日、合格発表日一覧】

• 出願期間

専 攻	日 時
臨床人間科学専攻	8月22日(月)～26日(金)
比較地域文化専攻	前期試験：8月22日(月)～26日(金)
	後期試験：12月5日(月)～9日(金)
経 済 専 攻	前期試験：8月22日(月)～26日(金)
	後期試験：12月5日(月)～9日(金)

• 学力検査及び面接日

専 攻	日 時	試験内容
臨床人間科学専攻	10月1日(土)・2日(日)	筆記試験・面接試験
比較地域文化専攻	前期試験：10月1日(土)	筆記試験・面接試験
	後期試験：平成24年1月29日(日)	論文審査・面接試験
経 済 専 攻	前期試験：10月1日(土)	筆記試験・面接試験
	後期試験：平成24年1月29日(日)	論文審査・面接試験

• 合格発表日

専 攻	日 時
臨床人間科学専攻	10月11日(火) 14時頃
比較地域文化専攻	前期試験：10月11日(火) 14時頃
	後期試験：平成24年2月6日(月) 14時頃
経 済 専 攻	前期試験：10月11日(火) 14時頃
	後期試験：平成24年2月6日(月) 14時頃

静岡大学のビジョン

「自由啓発・未来創成」

静岡大学は「質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学」を目指します。

(詳しくは <http://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/mission/index.html> を参照ください)

静岡大学の使命

教 育：地球の未来に責任をもち、国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人を育成します。

研 究：世界の平和と人類の幸福を根底から支える諸科学を目指し、創造性あふれる学術研究を行います。

社会連携：地域社会とともに歩み、社会が直面する諸問題に真剣に取り組み、文化と科学の発信基地として、社会に貢献します。

人文社会科学部 アドミッション・ポリシー

1. 育てる人間像

個別領域を越えた学際的・総合的な学習と研究を通じ、広い視野と実践的学識・素養をもつ高度専門職業人と、地域の課題にリーダーとして取り組み、改善策を提案し、地球の未来にも関心をもつ人材、分裂と衝突の時代を、共生と調和の時代に変えていく应用能力をもつ人材を育成します。

2. 目指す教育

人文社会科学部は、国際社会と地域社会に開かれた大学院教育の実践を基本方針として、専門性と学際性、国際性と地域性を兼ね備えた高度職業人を養成します。

3. 入学を期待する学生像

人類が歩んできた歴史を踏まえ、21世紀の国際社会が抱える諸問題に積極的に取り組む意欲をもち、人文社会科学の各分野に対し高度の研究意欲と実践意思を有する人の入学を期待します。

静岡大学大学院人文社会科学研究科の理念

静岡大学大学院人文社会科学研究科は、専門性、学際性、国際性及び地域性を兼ね備えた高度職業人の養成を目的としています。

これからの社会では、国際化、情報化、高齢化などが進むとともに、文化現象及び社会現象におけるいっそうの多様化と個性化が進行することでしょう。そのような社会的変化に的確に対応できる人材を養成するために、臨床人間科学専攻、比較地域文化専攻及び経済専攻の3専攻を設置し、それぞれの特色を生かして、総合的思考能力と実践的応用能力とを涵養します。

【臨床人間科学専攻】

臨床人間科学専攻は、保健・医療・福祉・教育・行政・NPO・市民運動などヒューマン・サービスや社会政策の分野で、ケア・援助・支援・政策のあり方を探り実践的に活動しうる高度専門職業人の育成を目指しています。

そのため、臨床人間学・臨床心理学・臨床社会学など広義の臨床人間科学の総合的な学習と研究を通じて、幅広い教養を身につけると同時に、援助実践の専門的な技能及び調査・研究の能力を養います。

【比較地域文化専攻】

比較地域文化専攻は、新しい地域社会文化と国際的コミュニケーションの構築に向けて、国際社会文化的視野を持つ高度専門職業人の養成を目指します。人間社会と文化の探求、言語を媒介とした全ての精神文化への考察など、これらの学際的で高度な専門知識を修得しながら、国際社会にも通用する広い視野と応用性のある自立した研究能力を有する人材を育成していきます。

比較地域文化専攻における教育と研究は、さまざまな地域における共時的かつ通時的な社会文化現象や言語文化現象の解明を中心に据えながら、本質を見通す複合的な思考判断能力や学際的な実践応用能力を養うことを主眼にしています。

【経済専攻】

企業経営のグローバル化・情報化に伴い、現代企業をとりまく国際経済環境を総合的に理解し、経営管理・企業情報などに関する諸問題を解決する能力が重要となっています。また、地域の行政需要の高度化や個性化の要請に対応して地域の公共政策の面で、地域経済に関する総合的判断能力や政策立案能力をもつ人材が求められています。

経済専攻は、上記の社会的要請にこたえるため、経済学・経営学分野における高度で専門的な分析能力・応用能力をもつとともに、これらの個別領域をこえた学際的・総合的な実践的学識・素養をもつ人材の養成を教育方針としています。

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 学生募集要項

1 募集人員

専攻	募集人員
臨床人間科学専攻	11名（社会人若干名を含む）
比較地域文化専攻	10名（社会人・留学生を含む） ※前期試験・後期試験の合計人数
経済専攻	10名（社会人・留学生を含む） ※前期試験・後期試験の合計人数

※経済専攻の研究指導分野の変更、募集人員の変更（増）を予定しています。

なお、このことは予定であり、変更もあり得ます。

詳しくは、後日、本学ホームページに公表する予定です。

2 試験日程

専攻	日 時	試験内容
臨床人間科学専攻	10月1日(土)・2日(日)	筆記試験・面接試験
比較地域文化専攻	前期試験：10月1日(土)	筆記試験・面接試験
	後期試験：平成24年1月29日(日)	論文審査・面接試験
経済専攻	前期試験：10月1日(土)	筆記試験・面接試験
	後期試験：平成24年1月29日(日)	論文審査・面接試験

3 出願期間

【10月実施】

平成23年8月22日(月)から8月26日(金)まで

受付は、午前9時から正午まで及び午後1時30分から午後4時までです。

なお、郵送の場合も8月26日(金)午後4時必着です。

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻

平成23年12月5日(月)から12月9日(金)まで

受付は、午前9時から正午まで及び午後1時30分から午後4時までです。

なお、郵送の場合も12月9日(金)午後4時必着です。

4-1 出願資格（一般入試）

平成24年3月末日をもって、下記(1)～(3)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (10) 大学に3年以上在学した者であって、本研究科の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、本研究科の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者

4-2 出願資格確認及び審査（一般入試）

出願資格（一般入試）の(3)から(7)の資格で出願する場合は出願資格の確認、出願資格（一般入試）の(8)から(9)の資格で出願する場合は事前に資格審査を行い、その適格者に受験を認めます。

次の書類を提出期限までに人文学部学務係に提出してください。

(1) 提出期限

【10月実施】

平成23年7月8日(金) 午後4時必着

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻

平成23年10月31日(月) 午後4時必着

(2) 提出書類

- 出願資格事前確認・審査申請書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- 履歴書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- 業績目録：様式随意
- 卒業証明書及び修了証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- 成績証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- その他：卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の研究業績がある場合は添付してください。（コピー可）。

(3) 確認・審査方法

提出された書類により行います。

(4) 資格確認・審査結果の通知等

【10月実施】

- 通知日：平成23年7月22日(金)

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻

- 通知日：平成23年11月11日(金)

申請者宛に通知します。資格適格者及び資格審査合格者は、所定の出願期間内に提出済みのものを除いた出願書類を提出してください。

4-3 飛び入学制度

人文社会科学部研究科経済専攻では、学部の授業科目で特に優れた成績を修め、修士課程への進学に強い意欲を持つ学生に対し、早期進学を促すことを目的として、「飛び入学」（「飛び級入試」）を実施します。臨床人間科学専攻及び比較地域文化専攻については、本年度は適用しません。

出願資格（一般入試）の(10)から(13)の資格で出願する場合は、事前に資格審査を行いますので、次の書類を提出期限までに人文学部学務係に提出してください。

(1) 提出期限

平成23年10月31日(月) 午後4時必着

(2) 提出書類

- (ア) 出願資格事前確認・審査申請書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- (イ) 履歴書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- (ウ) 最終学歴の卒業証明書又は在学期間証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

- (エ) 最終学歴の成績証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- (オ) 最終学歴の大学（学部）履修規定：卒業に必要な授業科目・単位数を明記した書類（外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- (カ) その他：卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の研究業績がある場合は添付してください（コピー可）。
- (3) 資格審査方法
提出された書類により行います。
- (4) 資格審査結果の通知等
・通知日：平成23年11月11日(金)
申請者宛に通知します。資格審査合格者は、所定の出願期間内に提出済みのものを除いた出願書類を提出してください。
- (5) 入学資格
- ① 静岡大学人文学部経済学科生（昼間コース）
ア 卒業に必要な共通教育科目の全単位を修得していること。
イ 卒業に必要な専門科目の単位数から卒業研究の単位数を除いた単位数の90%以上を修得していること。
ウ 上記（イ）について「優」「秀」が85%以上あること。
- ② 静岡大学人文学部経済学科生以外については、上記の基準に準ずる。
- ③ 入学試験に合格しても、①の入学資格の基準を満たさなかった場合は、本研究科に入学することはできません。
- (6) その他
- ① この制度による入学試験に合格し、本研究科に入学しようとする者は、在籍する大学が発行する成績証明書及び退学証明書を入学手続時（平成24年3月を予定）に提出してください。
- ② この制度を利用して大学院へ入学しようとする者は、大学を中途退学となり、学士の学位を取得できません。大学評価・学位授与機構に、本研究科修士課程の1年修了後、大学評価・学位授与機構が定める要件を満たすことにより、学士の学位授与を申請することが出来ます。

5-1 出願資格（社会人入試）

社会人入試を受けることができるのは、上記の「4-1 出願資格（一般入試）」に該当し、次のいずれかに該当する人

- (1) 現に常勤の職を有し、入学後も在職のまま就学する予定の人
- (2) 入学時において大学卒業後3年以上経過している人

- (3) 社会人編入学試験等で学部に入学者、卒業した者又は卒業見込みの者
- (4) 入学時において大学卒業後3年以上経過していない人でも、社会人経験3年以上を有する人。ただし、昼間部の大学の在学期間はその期間に職業をもっていた場合でも、社会人としての経験に入りません。また、夜間・夜間主又は通信制の大学の在学期間に職業を持っていた場合は、職業についていた期間が社会人としての経験に入ります。

※ なお、経済専攻の後期試験は、上記の資格を満たした上で、公務員等として行政に携わっている人、もしくは、NPO等で地域の社会活動や地域問題に取り組んでいる人か、取り組もうとしている人を対象とします。

5-2 出願資格確認及び審査（社会人入試）

出願資格（一般入試）の(3)から(7)の資格で出願する場合は出願資格の確認、出願資格（一般入試）の(8)から(9)の資格で出願する場合は事前に資格審査を行い、その適格者に受験を認めます。

次の書類を提出期限までに人文学部学務係に提出してください。

(1) 提出期限

【10月実施】

平成23年7月8日(金) 午後4時必着

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻

平成23年10月31日(月) 午後4時必着

(2) 提出書類

- 出願資格事前確認・審査申請書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- 履歴書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- 業績目録：様式随意
- 卒業証明書及び修了証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- 成績証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- その他：卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の研究業績がある場合は添付してください。（コピー可）。

(3) 確認・審査方法

提出された書類により行います。

(4) 資格確認・審査結果の通知等

【10月実施】

- 通知日：平成23年7月22日(金)

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻

・通知日：平成23年11月11日(金)

申請者宛に通知します。資格適格者及び資格審査合格者は、所定の出願期間内に提出済みのものを除いた出願書類を提出してください。

6-1 出願資格（外国人留学生入試）

下記(1)~(3)のすべてに該当する人

- (1) 日本国籍を持たない人
- (2) 外国において12年以上の課程を修了し、日本の大学を卒業した人（平成24（2012）年3月に卒業見込みの人を含む）又は外国において学校教育における16年の課程を修了した人（平成24（2012）年3月に修了見込みの人を含む）もしくはこれと同等以上の学力を有すると、本研究科が認めた人で22歳に達した人
（下記の「6-2 出願資格確認及び審査（外国人留学生入試）」を参照）
- (3) 修学に必要な日本語の能力を有する人

6-2 出願資格確認及び審査（外国人留学生入試）

出願資格（外国人留学生入試）の(2)「外国において12年以上の課程を修了し、日本の大学を卒業した人（平成24（2012）年3月に卒業見込みの人を含む）」以外の資格で出願する場合は、事前に資格確認及び審査を行いますので、次の書類を提出期限までに人文学部学務係に提出してください。

- (1) 提出期限

【10月実施】

平成23（2011）年7月8日(金) 午後4時必着

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻のみ

平成23（2011）年10月31日(月) 午後4時必着

- (2) 提出書類

- ・出願資格事前確認・審査申請書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- ・履歴書：本研究科所定の用紙を使用してください。
- ・卒業証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- ・成績証明書：様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）
- ・その他：卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の研究業績がある場合は添付してください（コピーでも結構です）。

- (3) 確認・審査方法

提出された書類により行います。

- (4) 資格確認・審査結果の通知等

【10月実施】

• 通知日：平成23（2011）年7月22日（金）

【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻のみ

• 通知日：平成23（2011）年11月11日（金）

申請者宛に通知します。資格審査合格者は、所定の出願期間内に提出済みのものを除いた出願書類を提出してください。

7 障害等のある入学志願者の受験特別措置

- (1) 身体に障害等のある入学志願者で、受験及び修学に特別な配慮が必要な場合は、出願する前に、相談させていただくこともありますので、下記により申請してください。相談の結果は決定しだい、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	【10月実施】 平成23年7月15日（金） 【1月実施】（後期試験）※比較地域文化専攻及び経済専攻 平成23年11月4日（金）
申請の方法	所定の「受験特別措置申請書」に、「障害者手帳」の写し又は医師の「診断書」を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	静岡大学人文学部学務係

- (2) 出願締切日後に、不慮の事故等のため、受験及び修学に特別な配慮が必要な場合は、速やかに本人又は代理人が医師の「診断書」を持参のうえ、上記【連絡先】に申請してください。
- (3) 受験特別措置の許可を受けた場合には、出願書類送付封筒の表に「受験特別措置」と朱書きして、本学から送付された「特別措置についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

- 【注】 1 郵便による照会及び『受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、80円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- 2 電話による照会及び『受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日には受け付けませんので注意してください。

8 出願手続き（一般入試・社会人入試）

出願者は、下記の書類を、上記の出願期間内に提出してください。なお、郵送の場合

は、必ず速達簡易書留郵便とし、封筒に「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。

(1) 入学志願票・受験票・写真票

本研究科所定の用紙を使用してください。

(2) 卒業（見込）証明書

様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

(3) 成績証明書

様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

(4) 研究計画書

- 臨床人間科学専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を用い、入学後に行う予定の研究計画を記入してください（ワープロ可）。

卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の関連する研究業績がある場合は添付することができます（コピー可）。

- 比較地域文化専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を用い、入学後に行う予定の研究計画を記入してください。

卒業論文、研究調査報告書、学術論文等の研究業績がある場合は添付してください。（コピー可、面接のときに返却します。）

- 経済専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を用い、入学後に行う予定の研究計画を記入してください。

(5) 提出論文 ※1月実施（後期試験）出願者のみ

比較地域文化専攻に出願する人は、卒業論文、又はそれに相当するものを1編必ず提出してください。また、提出する論文の要旨を日本語で4,000字程度でまとめてください（書式自由）。論文及び要旨は受験者へ返却しませんので、ご注意ください。

経済専攻に出願する人は、卒業論文、又はそれに相当するものを1編必ず提出してください。日本語に限ります。なお、飛び級による受験者の場合は、論文又はそれに相当するもので10,000字以上のもの、社会人入試の受験者の場合は、過去に執筆した論文又はそれに相当するもの、もしくは、審査用に執筆した論文又はそれに相当するもので8,000字以上のものを提出してください（いずれも日本語に限る）。論文は受験者へ返却しませんので、ご注意ください。

なお、これらの論文と書類のみ出願期間をこえて平成24年1月11日(水)午後4時まで受け付けます。

(6) 受験票等送付用封筒

本研究科所定の封筒を使用してください。あて先を明記し、360円分の切手を貼ってください。

(7) あて名票

本研究科所定の用紙に合格通知を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記してください。

(8) 入学検定料関係

① 検定料：30,000円

② 振込場所：郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口

（注）ゆうちょ銀行以外の銀行からの払い込みはできません。

③ 払込方法：同封の払込取扱票により必ず窓口で払い込んでください。

ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

（注）・払込取扱票の「ご依頼人」欄（3カ所）に住所、氏名等を、黒又は青色のボールペンで正確に必ず記入してください。

・「振替払込受付証明書」を郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口から受け取る際には、必ず日付印の押印を確認してください。

・郵便局（ゆうちょ銀行）での払込手数料は、330円です。

・「払込受領証」は、受験票を受け取るまでは大切に保存してください。

④ 振替払込受付証明書：「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の所定欄に貼り付けてください。

⑤ 払込後の返還

○ 検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

1 検定料の返還請求ができる場合

① 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合

○ 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

○ 検定料の返還請求の方法

上記の①又は②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、10月実施の試験では、平成23年9月2日（金）〔必着〕までに、1月実施の試験では、平成23年12月16日（金）〔必着〕までに、静岡大学人文学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

③の場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（一般入試、社会人入試、外国人留学生入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（郵便局は不可）、支店名
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

(9) 社会人入試を受ける人は、上記のほかに下記の書類を併せて提出してください。

① 受験理由書

- ・臨床人間科学専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を使用してください（ワープロ可）。なお、特筆すべき活動や業績がある場合には併せて記載してください。また、関連する資料がある場合には添付することができます。
- ・比較地域文化専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を使用してください。
- ・経済専攻に出願する人：本研究科所定の用紙を使用してください。

② 社会人入試の出願資格を証明できる下記の証明書を提出してください。

- ・社会人入試の出願資格(1)で出願する人
在職・勤務証明書及び入学後も在職のまま就学する意思である旨の申立書
- ・社会人入試の出願資格(2)で出願する人
(提出される大学卒業証明書で確認しますので、証明書は必要ありません)
- ・社会人入試の出願資格(3)で出願する人
大学卒業又は卒業見込みについては、併せて提出する証明書で確認しますが、社会人編入学試験等で学部に入學した証明が必要です。
(ただし静岡大学人文学部を社会人編入学試験等で入學した者については社会人編入学での証明を提出する必要はありません。)
- ・社会人入試の出願資格(4)で出願する人
社会人経験3年以上の期間を証明する在職・勤務期間証明書

③ 経済専攻の後期入試に出願する人は、公務員等として行政に携わっていること、もしくは、NPO等で地域の社会活動や地域問題に取り組んでいるか、取り組もうとしていることがわかるように、職歴、職務内容・活動内容、今後の計画の詳細を明記した別紙（A4用紙1枚以上、書式自由）を必ず提出してください。

9 出願手続き（外国人留学生入試）

出願者は、下記の書類を、上記の出願期間内に提出してください。なお、郵送の場合は、必ず速達簡易書留郵便とし、封筒に「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。

(1) 入学志願票・受験票・写真票

本研究科所定の用紙を使用してください。

(2) 卒業（見込）証明書

様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

(3) 成績証明書

様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

(4) 外国人登録原票記載事項証明書

現に日本国に在住し、かつ、外国人登録済みの外国人は、市区町村長の交付する外国人登録原票記載事項証明書（在留資格が明示されたもの）を提出してください。

外国から直接出願する場合は、戸籍抄本または市民籍など出身国の公的機関が発行する住所に関する証明書を提出してください。

(5) 日本留学試験（日本語）及び日本語能力試験（1級）の成績

受験した者は、成績通知書の写しを添付してください。出願時にまだ結果が出ていない場合は、結果が届き次第、提出してください。

(6) 受験理由書

受験理由と研究計画とを分けて、本研究科所定の用紙にまとめ、提出してください（日本語で記入してください）。

(7) 提出論文 ※1月実施（後期試験、比較地域文化専攻）出願者のみ

卒業論文、又はそれに相当するものを1編必ず提出してください。また、提出する論文の要旨を日本語で4,000字程度でまとめてください（書式自由）。これらの書類は受験者へ返却しませんので、ご注意ください。

なお、これらの書類のみ出願期間をこえて平成24（2012）年1月11日(水)午後4時まで受け付けます。

(8) 受験票等送付用封筒

本研究科所定の封筒を使用してください。あて先を明記し、360円分の切手を貼ってください。

(9) あて名票

本研究科所定の用紙に合格通知を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記してください。

(10) 入学検定料関係

① 検定料：30,000円

② 振込場所：郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口

(注) ゆうちょ銀行以外の銀行からの払い込みはできません。

- ③ 払込方法：同封の払込取扱票により必ず窓口で払い込んでください。

ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

(注) ・払込取扱票の「ご依頼人」欄（3カ所）に住所、氏名等を、黒又は青色のボールペンで正確に必ず記入してください。

- ・「振替払込受付証明書」を郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口から受け取る際には、必ず日付印の押印を確認してください。
- ・郵便局（ゆうちょ銀行）での払込手数料は、330円です。
- ・「払込受領証」は、受験票を受け取るまでは大切に保存してください。

- ④ 振替払込受付証明書：「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の所定欄に貼り付けてください。

- ⑤ 払込後の返還

- 検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合

- 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

- 検定料の返還請求の方法

上記の①又は②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、10月実施の試験では、平成23（2011）年9月2日（金）〔必着〕までに、1月実施の試験では、平成23（2011）年12月16日（金）〔必着〕までに、静岡大学人文学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

③の場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（一般入試、社会人入試、外国人留学生入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（郵便局は不可）、支店名
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

10 有職者に対する注意事項

(1) 官公庁・会社等に在職のまま入学しようとする人は、あらかじめ勤務先とよく相談、調整しておいてください。

(2) 働きながら学べる夜間・土曜日開講（臨床心理学コースを除く）

有職者・社会人が入学した場合、2年間で昼間フルタイムで就学することは困難です。そこで、そのような有職者・社会人の事情を考慮して、研究指導のほか、講義・演習についても、夜間開講・土曜日開講などを活用して、社会人学生の就学を容易にするための多様な教育方法、弾力的な時間割の編成・工夫を実施しています。

(3) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間又は1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、修士課程の標準年限である2年間の標準修業年限を超えて在学をしなければ課程を修了することができないと考える人に対して、申請に基づき、大学が審査し、2年を超え4年以内の学期を単位とする在学をあらかじめ認めた上で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度があります。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。

11 臨床人間科学専攻臨床心理学コースに出願される人への注意事項

(1) 臨床人間科学専攻「臨床心理学コース」修士課程は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士養成カリキュラムに則った研究指導プログラムとなっています。

(2) 修了に必要な履修科目には、集中講義形式で行われるものや通年で行われる現場実

習等、昼間に多くの学習の時間を確保しなければならないものがあります。そのため、在職のまま入学しようとする人は、このことを十分留意して受験してください。

なお、臨床心理士の詳細については、財団法人日本臨床心理士資格認定協会監修『臨床心理士になるために』（誠信書房）の最新版をご参照ください。

12 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、成績証明書等の提出書類を総合して行います。

(1) 学力検査及び面接の期日

【臨床人間科学専攻】

選抜区分	月 日	時 間	試 験 科 目		備 考
一 般 入 試	10月1日(土)	10:00~11:30	外 国 語	英語	辞書持込不可
		13:00~15:30	専門科目	○臨床心理学コースを志望する人は、必ず「別表Ⅰ」の臨床心理学コースの試験科目2科目を選択すること。 ○ヒューマン・ケア学コースを志望する人は、「別表Ⅰ」のヒューマン・ケア学コースの試験科目（5科目）から2科目選択。 ただし、そのうち1科目は、必ずヒューマン・ケア学を選択すること。 ○共生社会学コースを志望する人は、必ず「別表Ⅰ」の共生社会学コースの試験科目2科目を選択すること。	電卓・辞書等持込不可
	10月2日(日)	10:00~	面接		
社 会 人 入 試	10月1日(土)	13:00~15:30	専門科目	○臨床心理学コースを志望する人は、必ず「別表Ⅰ」の臨床心理学コースの試験科目2科目を選択すること。 ○ヒューマン・ケア学コースを志望する人は、「別表Ⅰ」のヒューマン・ケア学コースの試験科目（5科目）から2科目選択。 ただし、そのうち1科目は、必ずヒューマン・ケア学を選択すること。 ○共生社会学コースを志望する人は、必ず「別表Ⅰ」の共生社会学コースの試験科目2科目を選択すること。	電卓・辞書等持込不可
		10月2日(日)	10:00~	面接	

【比較地域文化専攻】

(前期試験)

選抜区分	月 日	時 間	試 験 科 目		備 考
一 般 入 試	10月1日(土)	10:00~11:30	外 国 語	英語、独語、仏語、中国語、ロシア語から1科目選択	辞書持込不可
		12:30~14:30	専門科目	○「別表Ⅱ」の試験科目から1科目選択。志望する研究指導分野の専門科目のうち、大学院入学後に研究しようとしている専攻領域に対応する試験科目を必ず選択すること。	
		15:30~	面接		
社 会 人 入 試 外国人留学生 入試	10月1日(土)	12:30~14:30	専門科目	○「別表Ⅱ」の試験科目から1科目選択。志望する研究指導分野の専門科目のうち、大学院入学後に研究しようとしている専攻領域に対応する試験科目を必ず選択すること。	
		15:30~	面接		

(後期試験)

選抜区分	月 日	時 間	試 験 科 目	備 考
一般入試 社会人入試 外国人留学生 入試	1月29日(日)	10:00~	面接	

【経済専攻】

選抜区分	月 日	時 間	試 験 科 目	備 考
一般入試	10月1日(土)	10:00~11:30	外国語 英語	辞書持込可(電子辞書不可)
		13:00~14:30	専門科目 ○「別表Ⅲ」の試験科目から1科目選択すること。	
		15:30~	面接	
社会人入試 外国人留学生 入試	10月1日(土)	13:00~14:30	専門科目 ○「別表Ⅲ」の試験科目から1科目選択すること。	
		15:30~	面接	

(後期試験)

選抜区分	月 日	時 間	試 験 科 目	備 考
一般入試 社会人入試	1月29日(日)	10:00~	面接	

(2) 選抜方針と判定方法**【臨床人間科学専攻】****〈選抜方針〉**

臨床人間科学専攻は、保健・医療・福祉・教育・行政・NPO・市民運動などのヒューマン・サービスや社会政策の分野で、ケア・援助・支援・政策のあり方を探り実践的に活動しうる高度専門職業人の育成を目指しています。

そのため、臨床人間学・臨床心理学・臨床社会学など広義の臨床人間科学の総合的な学習と研究を通じて、幅広い教養を身につけると同時に、援助実践の専門的な技能及び調査・研究の能力を養います。選抜試験では、このための基礎的知識・学力と意欲、関心及び適性を有しているかを判定します。

選抜試験においては、本専攻において学ぶための基本となる、大学教育修了程度の専門的知識や外国語能力(ただし外国語試験は一般入試のみ)、及び幅広い視点からの分析力、考察力、論理的思考力などを、学力検査と面接をとおして総合的に判断します。

〈判定方法〉

- ① 二段階選抜：学力検査の成績に基づいて、面接実施の有無を決定します。各受験者の面接実施の有無については、学力検査翌日の午前9時に、本学人文学部A棟玄関及び共通教育L棟南側玄関に掲示します。
- ② 総合点判定：各選抜・コースごとに、学力検査と面接の総合点の高位順に合否を決定します。
- ③ 同点者は同順位とし、同順位者が合格点であるときは、同順位者すべてを合格

とします。

④ 「科目等の最低ライン設定」はありません。

⑤ 配点

	外国語	専門科目	面接	計
一般入試	100	200	100	400
社会人入試	—	200	100	300

【比較地域文化専攻】

〈選抜方針〉

比較地域文化専攻は、人間学・文化人類学・歴史学・文学・言語学等の人文科学や人間科学の領域における高度で専門的な分析能力・応用能力を養うとともに、これらの個別領域を超えた学際的・総合的な実践的学識・素養を持つ人材の養成を教育方針とし、そのための学力・能力・適性等を選抜試験において判断します。

選抜試験においては、10月実施の前期試験では、本専攻において学ぶための基本となる、大学教育修了程度の専門的知識や外国語能力（ただし外国語試験は一般選抜のみ）及び幅広い視点からの分析力、考察力、論理的思考力などを、学力検査と面接をとおして総合的に判断します。1月実施の後期試験では、提出された論文内容と面接をとおして、総合的に判断します。

〈判定方法〉

① 総合点判定：各選抜・研究指導分野ごとに、学力検査と面接の総合点の高位順に合否を決定します。

② 同点者は同順位とし、同順位者が合格点であるときは、同順位者すべてを合格とします。

③ 「科目等の最低ライン設定」はありません。

④ 配点

(前期試験)

	外国語	専門科目	面接	計
一般入試	100	200	100	400
社会人入試	—	200	100	300
外国人留学生入試	—	200	200	400

(後期試験)

論文	面接	計
200	200	400

【経済専攻】

〈選抜方針〉

経済のグローバル化、環境問題の深刻化、地域の企業の活動の変化や地域社会の多様化の要請、こうした諸問題に対処するための経済学の役割など、現代

社会が投げかける経済的な諸問題は私たちの日々の職業生活にあって大きな影響をもっています。経済専攻では、毎日の職業生活にあって具体的に感じられる諸問題に専門的に対処できる人材の育成を目指しています。現代の経済的問題に対処するには、それぞれの分野の高度な知識や理論に加えて、地域社会と経済、地域経済と企業といった観点からの取り組みが必要です。

10月実施の前期試験では、学力検査によって、それぞれの専門分野における大学教育修了程度の知識と論理的思考力を問い、面接により、志願動機、就学条件、これまでの勉学の内容、研究計画等を問い、総合的に判断します。

1月実施の後期試験では、提出された論文をもとに、大学院で研究を進める前提条件を持っているかを審査し、面接により、志願動機、就学条件、従事している職務の内容、研究計画等を問い、総合的に判断します。

〈判定方法〉

- ① 総合点判定：各選抜ごとに、学力検査と面接の総合点の高位順に合否を決定します。
- ② 同点者は同順位とし、同順位者が合格点であるときは、同順位者すべてを合格とします。
- ③ 「科目等の最低ライン設定」はありません。
- ④ 配点

(前期試験)

	外国語	専門科目	面接	計
一般入試	100	100	100	300
社会人入試	—	100	100	200
外国人留学生入試	—	100	50	150

(後期試験)

論文	面接	計
200	200	400

(3) 学力検査及び面接会場

静岡大学人文学部

13 合格発表及び入学手続き

(1) 合格発表について

- 日時

【10月実施】

平成23年10月11日(火) 午後2時頃

【1月実施】(後期試験) ※比較地域文化専攻及び経済専攻

平成24年2月6日(月) 午後2時頃

- 発表掲示場所：本学人文学部A棟玄関及び共通教育L棟南側玄関
- (2) 入学手続き等の詳細については、本人に別途通知します。
- (3) 合格者が募集人員に満たない場合、第2次募集によって欠員補充を行うことがあります。

14 入学料及び授業料

入学料 282,000円〈平成23年度実績額〉

授業料 半期分 267,900円（年額 535,800円）〈平成23年度実績額〉

- (1) 入学料及び前期分の授業料は上記の入学手続きの際に納入してください。前期分の授業料について、上記の入学手続き期限に納入しない場合は、平成24年4月1日から同年4月30日までに納入してください。
- (2) 入学手続き完了者が平成24年3月31日までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、当該授業料相当額を返還します。ただし、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 平成24年3月31日までに、文部科学省の定める「平成24年度の授業料標準額」が改正された場合には、改正後の金額と既に納付した授業料との差額を、後期分の授業料引き落としの際（平成24年10月）に、指定の口座から追加徴収（引き落とし）させていただきます。
- (5) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

15 注意事項

- (1) 出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (2) 本研究科の選抜方法及び出願資格に関して照会する場合には、人文学部学務係にお問い合わせください。
- (3) 出願書類を郵便で請求するときは「大学院出願書類請求」と朱書きし、郵便番号、あて先、氏名を記入し、390円切手（速達 660円切手）を貼った返信用封筒（角形2号、33cm×24cm）を同封して請求してください。

16 出願書類請求及び提出先等

静岡大学人文学部学務係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL (054) 238-4267

FAX (054) 237-9247

※選抜試験、コース等に関する質問・疑問等ありましたら、上記まで手紙又はファッ

クスでお問い合わせください。

17 大学入試情報の提供

(1) 入試情報の開示

当該年度の修士課程における受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を平成24年4月16日(月)～平成24年5月15日(火)まで受け付けます。詳細は学務部教務チームまでお問い合わせください。

学務部教務チーム（大学院担当）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL (054) 238-4332

(2) 入試問題の閲覧

大学院の過去問題については、人文社会科学研究科事務窓口（人文学部学務係）及び入試情報閲覧室で閲覧することができます。

18 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

試験科目

【臨床人間科学専攻】

【別表Ⅰ】

コース	試験科目	出題範囲
臨床心理学	基礎心理学	心理学に関する、基礎的知識（生理・学習・認知・発達・人格・社会など）、論文読解力（英文を含む）及び基礎的な研究方法についての理解を問う。
	臨床心理学	臨床心理学の基礎的な知識と考え方、論文（英文を含む）の読解力及び問題への着眼と研究計画立案の基本的能力を問う。
ヒューマン・ケア学	ヒューマン・ケア学	医療・看護・福祉・介護・教育など対人援助のさまざまな分野で、人間の全体性を視野に入れたヒューマン・ケアのあり方を探求する上で必要な問題意識や理解力、あるいは自らの経験に基づく研究への展開力を問う。
	応用倫理学・臨床哲学	伝統的な倫理学・哲学のなかでも、ヒューマン・ケアのあり方を考える際に土台となり、現代社会への問題意識にも繋がるような基礎知識と理解力を問う。
	臨床心理学	臨床心理学の基礎的な知識と考え方、論文（英文を含む）の読解力及び問題への着眼と研究計画立案の基本的能力を問う。
	社会心理学	社会心理学（臨床社会心理学・健康心理学も含む）に関する基礎知識や論文読解力（英語を含む）及び心理学研究法に関する知識も含めての研究実践能力について問う。
	共生・臨床社会学	環境問題、ジェンダー、家族、障害者・高齢者のケアや福祉的問題、教育、青年期、グローバル化と地域社会などの現代的な社会問題について、社会学的な視点から総合的に論ずる力を問う。
共生社会学	基礎社会学	現代社会の諸問題を解明するために必要な社会学の概念や理論、調査法についての基礎的な知識を問う。
	共生・臨床社会学	環境問題、ジェンダー、家族、障害者・高齢者のケアや福祉的問題、教育、青年期、グローバル化と地域社会などの現代的な社会問題について、社会学的な視点から総合的に論ずる力を問う。

【比較地域文化専攻】

【別表Ⅱ】

研究指導分野	試験科目・専門領域	出題範囲
哲学芸術文化論	生命・人間・文化に関する問題	倫理、宗教、芸術、文学のうちから1つを選択し、それを手がかりにして生命・人間・文化について問う。
文化人類学	文化人類学	文化人類学の理論と方法に関する基礎的な知識と、現代的なテーマに関する問題意識、論理的な記述力を問う。文化人類学の入門・概説書、異文化に関する文献（エスノグラフィ等）を複数読んで準備することが望ましい。
歴史文化論	日本史学	日本史の特定分野に関する通史的な理解と、各時代の個別事項に関わる基礎知識を問う。あわせて古代及び中世の史料についての基礎的な読解力と理解力を問う。

歴史文化論	東洋史学	東洋史上の重要な問題・事項に関する基礎知識及び漢文・現代中国語のいずれかによる史料・文献の読解力を問う。
	西洋史学	西洋史上の重要な問題・事項に関する基礎知識並びに英語文献の読解力を問う。
	考古学	考古学に関する一般的、通史的な理解と、考古資料に関する基礎知識（遺跡、遺物、研究方法など）を問う。図による出題を含む。
国際言語文化論	日本文学文化論	古代から現代まで、散文・韻文・戯曲等、時代・ジャンルを問わず、関連する諸分野を含め、日本文学・文化を専門的に研究するために必要な知識・能力を問う。
	中国文学文化論	古代から現代に至る中国文学・中国思想・中国文化の重要な基礎知識を問いながら、併せて現代中国語・古典中国語で書かれた文献に対する読解力をみる。
	英米文学文化論	英米文学作品（小説、詩、戯曲、評論等）に関する読解力、英米文学史に関する事項及び文学理解に必要な英米の社会、文化に関する問題等をやや幅広く出題する。
	ドイツ文学文化論	近現代のドイツ語テキストの基本的読解力及びドイツ語圏の文学・文化（歴史・思想・芸術を含むことがある）を分析し理解する基礎知識を問う。
	フランス文学文化論	17世紀から現代までの文学作品、比較的平易な現代の文芸批評をもとに、現代フランス語の基本的な読解力及びフランス語のしくみやフランス文学・文化についての一般的な知識を問う。
比較言語文化論	英語学	英語学に関する文献の読解力並びに音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、英語史、社会言語学など、英語学の各分野に関する基礎知識を問う。
	ドイツ語学	ドイツ語のテキストを読む力、日本語のテキストをドイツ語に訳す力及び統語論の基礎知識（法と語法の関係など）を問う。
	フランス語学	現代フランス語では、主に文法や音声に関する知識を、フランス語の歴史では、古仏語以来この言語が被った変化に関する基本的な知識を問う。
	日本語学	現代日本語文法に関する問題意識と理解力、日本語文法論に関する知識及び法と音韻を中心とした日本語史についての基礎的な知識について問う。
	中国語学	統語論、語用論を中心とした中国語学の基礎知識及び中国語史に関する基礎知識を問いながら、現代中国語による文献の読解力及び言語学的洞察力をみる。
	言語学	一般言語学の諸分野、フィールド言語学に加えて、言語学の土台となる音声学（調音・音響音声学）と音韻論等の全体的な基礎知識及び言語データを分析する能力を問う。
	ロシア文学	古代から現代にいたるロシア文学・文化についての基礎知識とロシア語作品及び関係する文献を読みこなすために必要な読解力をはかれる問題を出題する。
	比較文学文化	日本を中心とした各国の言語文化現象（文学・芸術・宗教など）を学際的に研究するための基礎知識や、テキストの読解能力を問う。

【経済専攻】

【別表Ⅲ】

試験科目	出題範囲
経営学	経営学に関する理論及び知識を論述形式によって問う。
会計学	会計に関わる理論および会社法、金融商品取引法及び企業会計原則・会計基準における会計規範の一般的 content についての知識を論述形式で問う。
理論経済学	ミクロ経済学、マクロ経済学の標準的な学習範囲から論述形式によって問う。
金融論	現代における通貨・金融システムの諸問題と政策動向について問う。
経済政策	現代の経済政策上の諸問題に関する知識を問う。
社会政策	社会政策の問題領域のうち労働基準、労働市場及び最低賃金制に関わる問題を論述の形式によって問う。
経済統計学	経済統計学の一般的なテキストで扱われている知識と、経済統計が現実の社会の中で利用される際の諸問題について問う。
財政学	財政学（国家・地方）に関する諸課題に関する基本的知識を論述形式で問う。

注：各科目のうちには、複数の問題から1題選択する科目がある。

黒又は青のボールペンかペンを使用し、楷書で書いてください。

		受験番号	※	一般・社会人
平成 24 年度 静岡大学大学院人文社会科学研究所（修士課程）入学志願票				
ふりがな			本 籍	写真貼付欄 1 出願前3カ月以内に 単身撮影した上半身、 脱帽、正面向（縦4cm×横3cm） の写真の裏面全体にのりをつけて、 この枠内にはってください。 2 白黒、カラーいずれでもかまいません。
氏 名			都 道 府 県	
生年月日	昭和・平成	年 月 日	生（満 歳）男・女	
現住所	〒 -		E-MAIL TEL	
現住所以外の連絡先	〒 -		TEL	
志望する専攻名				
コース及び研究指導分野名				
受験科目	外国語 ※前期試験受験者のみ記入			
	専門科目 ※前期試験受験者のみ記入			
専門領域	※比較地域文化専攻後期試験受験者のみ、22-23頁の専門領域から1つ選び記入してください。			
出願資格	立 学 大 学		学部	学科
	昭和・平成		年	月卒業（見込）
履 歴				
学歴（高等学校卒業以上）	年	月	日	事 項
	・	・		
	・	・		
	・	・		
	・	・		
職 歴	・	・		
	・	・		
	・	・		
	・	・		
上記の通り相違ありません。				
平成 年 月 日 氏名 ㊞				

- 備考 (1) 願書記入の際は、募集要項熟読の上、記入漏れのないようにしてください。
 (2) 一般・社会人欄は該当するものに○をつけてください。
 (3) ※印欄は記入しないでください。
 (4) 申請した受験科目は変更できません。
 (5) 職歴はできるだけ詳しく書いてください。記入欄が足りない場合は、裏面を使用してもかまいません。
 (6) 年齢は平成24年4月1日現在で記入してください。

黒又は青のボールペンかペンを使用し、楷書で書いてください。

平成 24 年度 静岡大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）受験票		
受験番号	※	
ふりがな		
氏名		
志望する専攻名		
コース及び研究指導分野名		
受験科目	外国語 ※前期試験受験者のみ記入	
	専門科目 ※前期試験受験者のみ記入	
専門領域	※比較地域文化専攻後期試験受験者のみ、22-23 頁の専門領域から 1 つ選び記入してください。	
一般・社会人・外国人留学生		

写真貼付欄

- 1 出願前 3 カ月以内に単身撮影した上半身、脱帽、正面向（縦 4 cm × 横 3 cm）の写真の裏面全体にのりをつけて、この枠内にはってください。
- 2 白黒、カラーいずれでもかまいません。

- 備考 (1) ※印欄は記入しないでください。
 (2) 申請した受験科目は変更できません。
 (3) 一般・社会人・外国人留学生欄は該当するものに○をつけてください。

黒又は青のボールペンかペンを使用し、楷書で書いてください。

平成 24 年度 静岡大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）写真票		
受験番号	※	
ふりがな		
氏名		
志望する専攻名		
コース及び研究指導分野名		
受験科目	外国語 ※前期試験受験者のみ記入	
	専門科目 ※前期試験受験者のみ記入	
専門領域	※比較地域文化専攻後期試験受験者のみ、22-23 頁の専門領域から 1 つ選び記入してください。	
一般・社会人・外国人留学生		

写真貼付欄

- 1 出願前 3 カ月以内に単身撮影した上半身、脱帽、正面向（縦 4 cm × 横 3 cm）の写真の裏面全体にのりをつけて、この枠内にはってください。
- 2 白黒、カラーいずれでもかまいません。

- 備考 (1) ※印欄は記入しないでください。
 (2) 申請した受験科目は変更できません。
 (3) 一般・社会人・外国人留学生欄は該当するものに○をつけてください。

受 験 心 得

- (1) 受験者は試験開始後30分前までに、試験室に集合してください。
- (2) 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為をした人に対しては、ただちに退場を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参してください。

平成24年度静岡大学大学院人文社会科学研究所外国人留学生入学志願票

黒又は青のボールペンかペンを使用し、楷書で書いてください。

受験番号	※		写真貼付欄 1 出願前3カ月以内に単身撮影した上半身、脱帽、正面向(縦4cm×横3cm)の写真の裏面全体にのりをつけて、この枠内にはってください。 2 白黒、カラーいずれでもかまいません。	
氏名		性別		
フリガナ		男・女		
生年月日	19 年 月 日生 (歳)			
国 籍				
在留資格 留 学 短期滞在 (SOR IN EXAM) ・ 短期滞在 (SIGHTSEEING)				
志望する専攻名				
研究指導分野名				
受験科目	専門科目 ※前期試験受験者のみ記入			
専門領域	※比較地域文化専攻後期試験受験者のみ、22-23頁の専門領域から1つ選び記入してください。			
出願資格	最終学校	卒業又は修了見込み年 月 日	年 月 日	
		学 校 名		
		所 在 地		
	資格試験	取得年月日	年 月 日	
		名 称		
本人	本国住所			
	現住所	〒 ー E-MAIL (電話)		

- 備考 (1) 在留資格は該当するものに○をつけてください。
 (2) ※印欄は記入しないでください。
 (3) 申請した受験科目は変更できません。
 (4) 1月実施の後期試験(比較地域文化専攻のみ)受験者は、受験科目を記入しないで提出してください。
 (5) 年齢は2012年4月1日現在で記入してください。

〈研究テーマ〉

〈研究計画の概要〉

平成24年度
〈入学検定料〉振替払込受付証明書 貼付用紙

静岡大学大学院人文社会科学研究所

受験番号
*

フリガナ		男・女
氏名		

志望専攻		専攻
------	--	----

志望コース 研究指導分野	
-----------------	--

*印欄は記入しないでください。

払込受付証明書貼付欄
振替払込受付証明書 (お客さま用) <small>ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人</small> 入学検定料 受付証明書
金額 口座番号
加入者名 静岡大学 <small>ご依頼人住所・氏名(フリガナ) ※</small>
見本 この上か ら証明書を 貼付
日附印
(志願者用)

あて名票

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

様方
様

大 学 記載欄	
------------	--

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

様方
様

大 学 記載欄	
------------	--

このあて名票は、合格通知又は入学手続案内等を大学から送付するために使用します。
合格通知又は入学手続案内等が確実に届くよう、郵便番号・住所（寮・団地・アパート等
の場合はその名称・棟番号・戸番を、下宿等の場合は「○○様方」を必ず記入）・氏名を正確
に記入し、台紙のまま提出してください。
なお、提出後に記載内容が変更した場合は、速やかに届け出てください。

静岡大学院人文社会科学研究所

問い合わせ先

静岡大学人文学部学務係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6

TEL (054) 238-4267